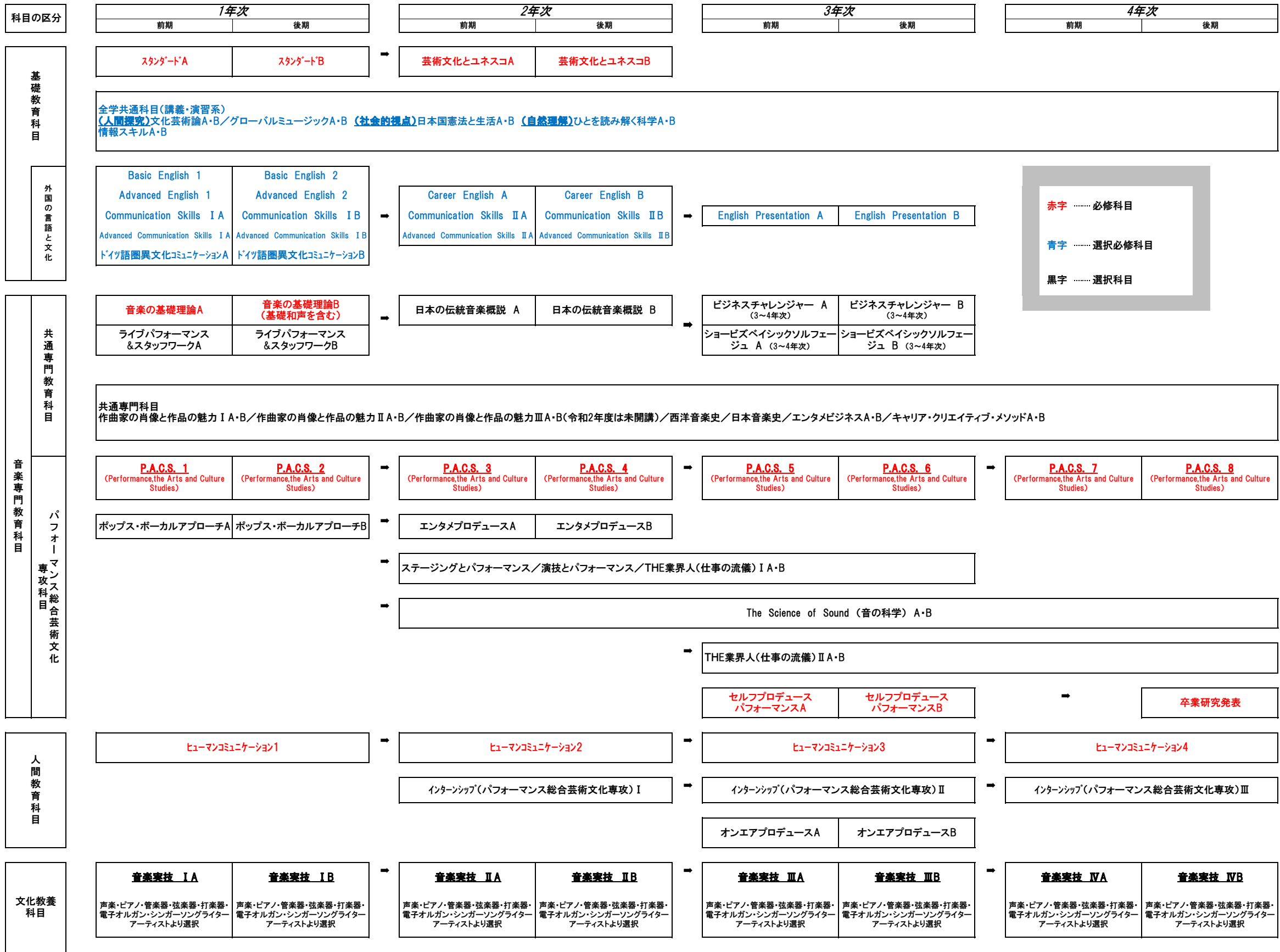
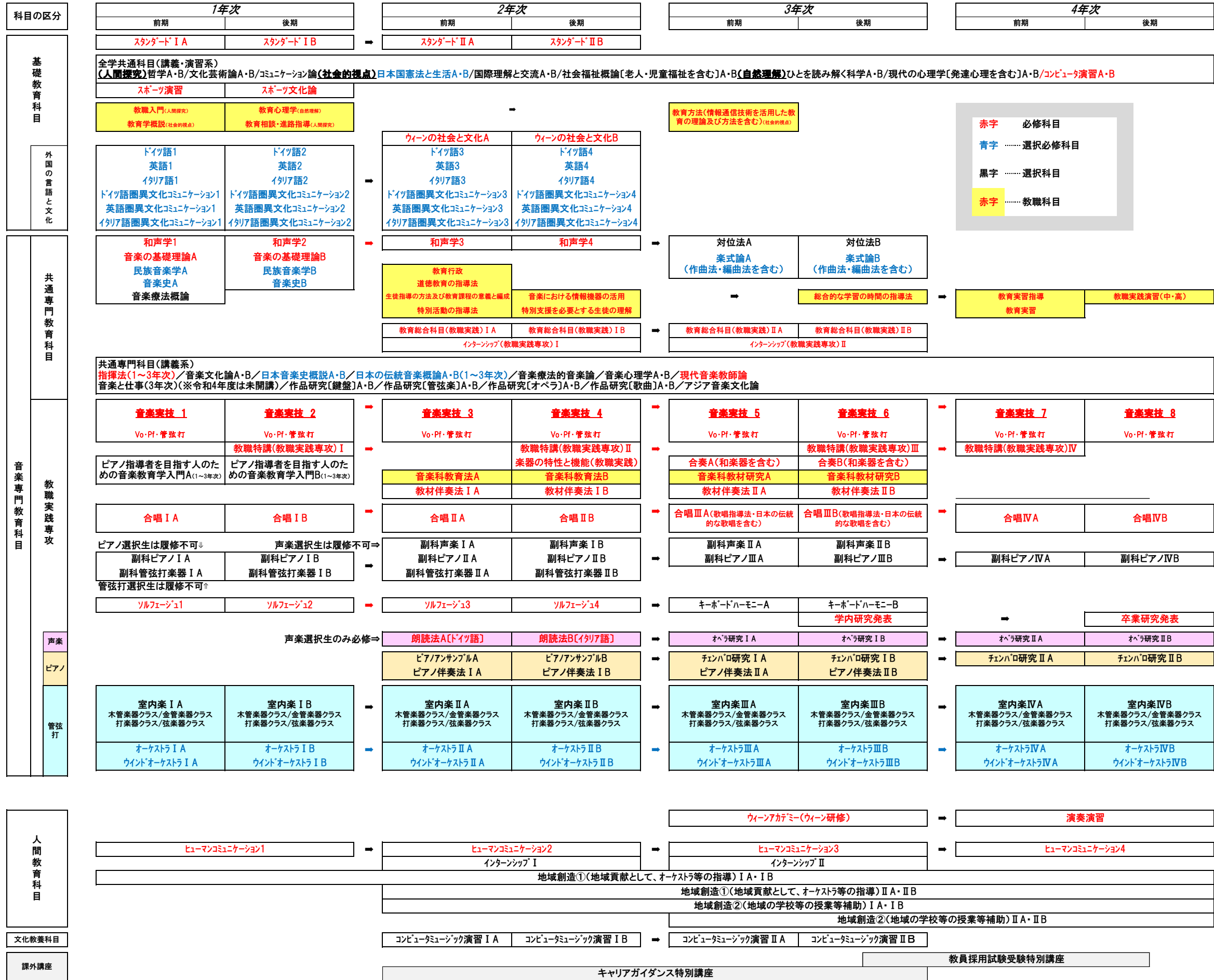


令和4年度 東邦音楽大学 音楽学部 音楽学科【パフォーマンス総合芸術文化専攻】カリキュラムツリー（履修系統図）



令和4年度 東邦音楽大学 音楽学部 音楽学科【教職実践専攻】カリキュラムツリー(履修系統図)



知識・技能	多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力
知識・技能	専攻分野を中心とした知識と技能
知識・技能	国際的な視野に立った広範な文化の理解
思考力・判断力・表現力	現代社会に必要なとされるコミュニケーション能力
思考力・判断力・表現力	体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決をする能力
思考力・判断力・表現力	自己発信のプレゼンテーション能力
ディプロマポリシー	専門分野を超えて問題を探求する姿勢
ディプロマポリシー	国際感覚を身に付け、世界に踏み出そうとする意欲
意欲・関心・志向性	自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野(自己管理能力・チームワーク)
意欲・関心・志向性	生涯にわたって探求しようとする姿勢(生涯学習力)
意欲・関心・志向性	多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲(社会的責任・チームワーク・リーダーシップ)

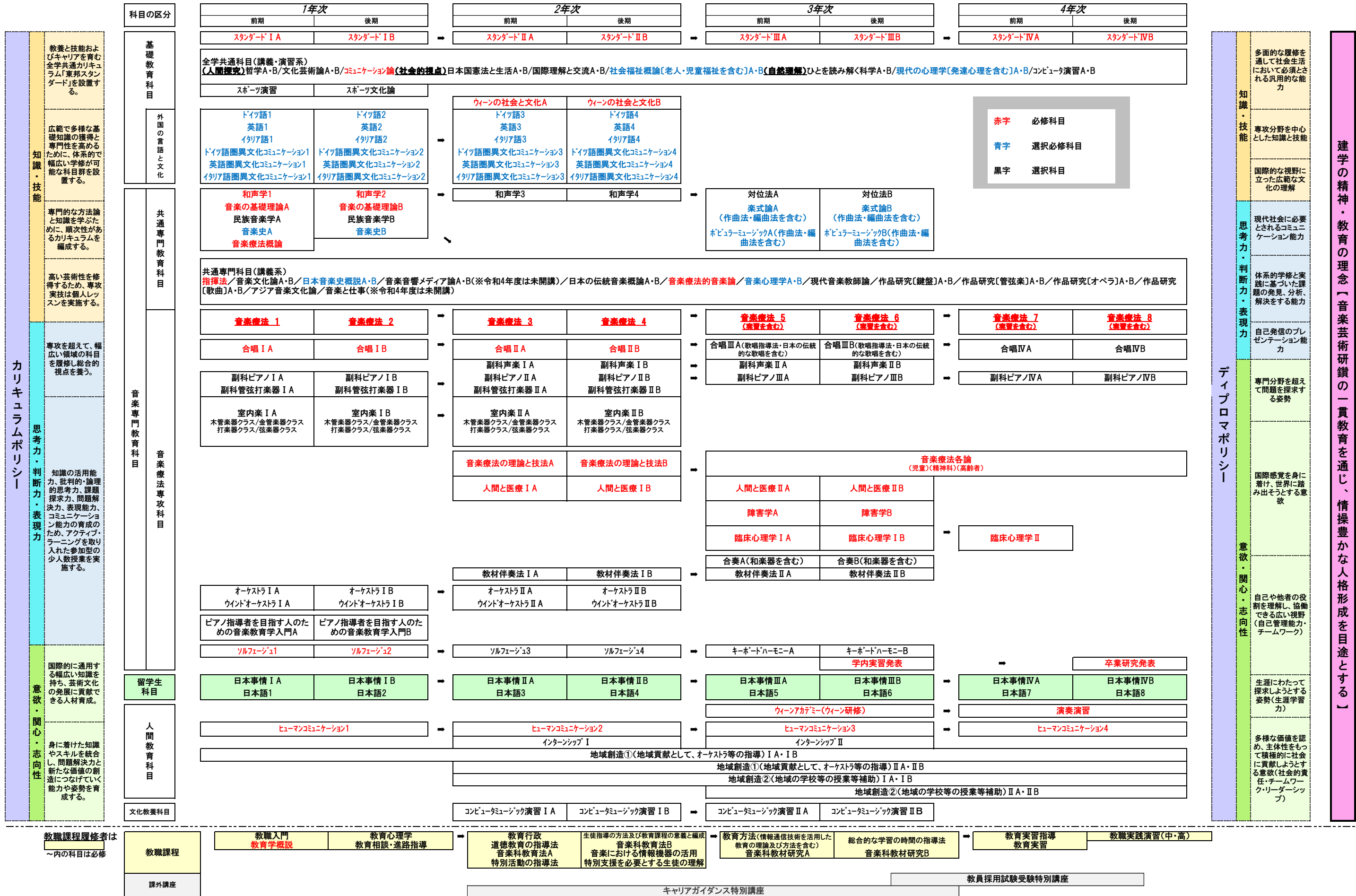
建学の精神・教育の理念〔音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情豊かな人格形成を目途とする〕

知識・技能	教養と技能およびキャリアを育む全学共通カリキュラム「東邦スタンダード」を設置する。
知識・技能	広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で幅広い学修が可能な科目群を設置する。
知識・技能	専門的な方法論と知識を学ぶために、順次性があるカリキュラムを編成する。
知識・技能	高い芸術性を修得するため、専攻実技は個人レッスンを実施する。
思考力・判断力・表現力	専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。
思考力・判断力・表現力	知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブラーニングを取り入れた参加型の少人数授業を実施する。
意欲・関心・志向性	国際的に通用する幅広い知識を持ち、芸術文化の発展に貢献できる人材育成。
意欲・関心・志向性	身に着けた知識やスキルを統合し、問題解決力と新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する。

令和4年度 東邦音楽大学 音楽学部 音楽学科【konzertfach演奏専攻】カリキュラムツリー(履修系統図)

		1年次	2年次	3年次	4年次
		前期	後期	前期	後期
		スタンダードⅠA	スタンダードⅠB	スタンダードⅡA	スタンダードⅡB
		全学共通科目(講義・演習系) (人間探究)哲学A・B/文化芸術論A・B/コミュニケーション論(社会的視点)日本国憲法と生活A・B/国際理解と交流A・B/社会福祉概論(老人・児童福祉を含む)A・B(自然理解)ひとを読み解く科学A・B/現代の心理学[発達心理を含む]A・B/コンピュータ演習A・B			
		スポーツ演習	スポーツ文化論		
知識・技能	基礎教育科目	ドイツ語(konzertfach)1 英語1 イタリ7語1 英語圏異文化コミュニケーション1 イタリ7語圏異文化コミュニケーション1	ドイツ語(konzertfach)2 英語2 イタリ7語2 英語圏異文化コミュニケーション2 イタリ7語圏異文化コミュニケーション2	ドイツ語(konzertfach)3 【異文化コミュニケーションを含む】 英語3 イタリ7語3 英語圏異文化コミュニケーション3 イタリ7語圏異文化コミュニケーション3	ドイツ語(konzertfach)4 【異文化コミュニケーションを含む】 英語4 イタリ7語4 英語圏異文化コミュニケーション4 イタリ7語圏異文化コミュニケーション4
	外国の言語と文化	ドイツ語(konzertfach)5	ドイツ語(konzertfach)6	ドイツ語(konzertfach)7	ドイツ語(konzertfach)8
	共通専門教育科目	和声学(konzertfach)1 音楽の基礎理論(konzertfach)A 民族音楽学A 音楽史A 音楽療法概論	和声学(konzertfach)2 音楽の基礎理論(konzertfach)B 民族音楽学B 音楽史B 音楽療法概論	和声学(konzertfach)3 ピアノ・管弦打楽器専門生のみ必修	和声学(konzertfach)4 ピアノ・管弦打楽器専門生のみ必修
	音楽専門教育科目	作品研究(楽曲分析)(Konzertfach)ⅠA ピアノ・管弦打楽器専門生のみ必修	作品研究(楽曲分析)(Konzertfach)ⅠB ピアノ・管弦打楽器専門生のみ必修	作品研究(楽曲分析)(Konzertfach)ⅡA ピアノ・管弦打楽器専門生のみ必修	作品研究(楽曲分析)(Konzertfach)ⅡB ピアノ・管弦打楽器専門生のみ必修
思考力・判断力・表現力	音楽専門教育科目	koncertfach専門実技_1 Vo・Pf・管弦打 ウィーンアカデミープロフェッショナル (Konzertfach)1 (ウィーン研修)	koncertfach専門実技_2 Vo・Pf・管弦打 ウィーンアカデミープロフェッショナル (Konzertfach)2 (ウィーン研修)	koncertfach専門実技_3 Vo・Pf・管弦打 ウィーンアカデミープロフェッショナル (Konzertfach)3 (ウィーン研修)	koncertfach専門実技_4 Vo・Pf・管弦打 ウィーンアカデミープロフェッショナル (Konzertfach)4 (ウィーン研修)
	音楽専門教育科目	合唱ⅠA	合唱ⅠB	合唱ⅡA	合唱ⅡB
	音楽専門教育科目	ピアノ専門生以外は2年次生より履修可 教材伴奏法ⅠA	教材伴奏法ⅠB	教材伴奏法ⅡA	教材伴奏法ⅡB
	音楽専門教育科目	ソルフェージュ1 ソルフェージュ1(留学生クラス)	ソルフェージュ2 ソルフェージュ2(留学生クラス)	ソルフェージュ3	ソルフェージュ4
意欲・関心・志向性	音楽専門教育科目	ピアノ/専門生履修不可 副科ピアノⅠA	音楽専門生履修不可 副科ピアノⅠB	副科声楽ⅠA 副科ピアノⅡA	副科声楽ⅠB 副科ピアノⅡB
	音楽専門教育科目	朗読法(イタリ7語)(Konzertfach)ⅠA 声作り(シュティムビルドゥング) (Konzertfach)ⅠA(Voのみ)	朗読法(イタリ7語)(Konzertfach)ⅠB 声作り(シュティムビルドゥング) (Konzertfach)ⅠB(Voのみ)	朗読法(ドイツ語)(Konzertfach)ⅡA 声作り(シュティムビルドゥング) (Konzertfach)ⅡA(Voのみ)	朗読法(ドイツ語)(Konzertfach)ⅡB 声作り(シュティムビルドゥング) (Konzertfach)ⅡB(Voのみ)
	音楽専門教育科目	ピアノ指導者を目指す人のための音楽教育学入門A	ピアノ指導者を目指す人のための音楽教育学入門B	ピアノ/アンサンブルA ピアノ伴奏法ⅠA	ピアノ/アンサンブルB ピアノ伴奏法ⅠB
	音楽専門教育科目	室内楽ⅠA 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅠB 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅡA 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅡB 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス
意欲・関心・志向性	音楽専門教育科目	オーケストラⅠA ウインドオーケストラⅠA	オーケストラⅠB ウインドオーケストラⅠB	オーケストラⅡA ウインドオーケストラⅡA	オーケストラⅡB ウインドオーケストラⅡB
	音楽専門教育科目	日本事情ⅠA 日本語1	日本事情ⅠB 日本語2	日本事情ⅡA 日本語3	日本事情ⅡB 日本語4
	音楽専門教育科目	ヒューマンコミュニケーション1	ヒューマンコミュニケーション2 インターンシップⅠ	ヒューマンコミュニケーション3 インターンシップⅡ	ヒューマンコミュニケーション4
	音楽専門教育科目	地域創造①(地域貢献として、オーケストラ等の指導)ⅠA・ⅠB	地域創造①(地域貢献として、オーケストラ等の指導)ⅡA・ⅡB	地域創造②(地域の学校等の授業等補助)ⅠA・ⅠB	地域創造②(地域の学校等の授業等補助)ⅡA・ⅡB
意欲・関心・志向性	音楽専門教育科目	コンピュタミュージック演習ⅠA	コンピュタミュージック演習ⅠB	コンピュタミュージック演習ⅡA	コンピュタミュージック演習ⅡB
	音楽専門教育科目	教職入門 教育学概説	教育心理学 教育相談・進路指導	教育行政 道徳教育の指導法 音楽科教育法A 特別活動の指導法	生徒指導の方法及び教育課程の意義と編成 音楽科教育法B 音楽における情報機器の活用 特別支援を必要とする生徒の理解
	音楽専門教育科目	教育実習指導 教育実習	教職実践演習(中・高)	教育実習指導 教育実習	教職実践演習(中・高)
	音楽専門教育科目	教員採用試験受験特別講座	教員採用試験受験特別講座	教員採用試験受験特別講座	教員採用試験受験特別講座

令和4年度 東邦音楽大学 音楽学部 音楽学科【音楽療法専攻】カリキュラムツリー（履修系統図）



知識・技能	教養と技能およびキャリアを育む全学共通カリキュラム「真邦スタンダード」を設置する。
	広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で幅広い学修が可能な科目群を設置する。
	専門的な方法論と知識を学ぶために、順次性があるカリキュラムを編成する。
	高い芸術性を修得するため、専攻実技は個人レッスンを実施する。
カリキュラムポリシー	専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。
	知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブラーニングを取り入れた参加型の少人数授業を実施する。
意欲・関心・志向性	国際的に通用する幅広い知識を持ち、芸術文化の発展に貢献できる人材育成。
	身に着けた知識やスキルを統合し、問題解決力と新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する。

ディプロマポリシー	知識・技能	多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力
		専攻分野を中心とした知識と技能
		国際的な視野に立った広範な文化の理解
	思考力・判断力・表現力	現代社会に必要なとされるコミュニケーション能力
		体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決をする能力
		自己発信のプレゼンテーション能力
		専門分野を超えて問題を探求する姿勢
		国際感覚を身に付け、世界に踏み出そうとする意欲
	意欲・関心・志向性	自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野（自己管理能力・チームワーク）
		生涯にわたって探求しようとする姿勢（生涯学習力）
		多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲（社会的責任・チームワーク・リーダーシップ）

教職課程履修者は
～内の科目は必修

教職課程	教職入門 教育学概説	教育心理学 教育相談・進路指導	→	教育行政 道徳教育の指導法 音楽科教育法A 特別活動の指導法	生徒指導の方法及び教育課程の意義と編成 音楽科教育法B 音楽における情報機器の活用 特別支援を必要とする生徒の理解	→	教育方法(情報通信技術を活用した 教育の理論及び方法を含む) 音楽科教材研究A	総合的な学習の時間の指導法 音楽科教材研究B	→	教育実習指導 教育実習	教職実践演習(中・高)
課外講座	教員採用試験受験特別講座										

2年次		3年次	
前期	後期	前期	後期
スタンダードⅡA	スタンダードⅡB	→	スタンダードⅢA スタンダードⅢB

赤字	必修科目
青字	選択必修科目
黒字	選択科目

ディプロマポリシー	知識・技能	多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力
		専攻分野を中心とした知識と技能
	思考力・判断力・表現力	国際的な視野に立った広範な文化の理解
		現代社会に必要なとされるコミュニケーション能力
		体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決をする能力
		自己発信のプレゼンテーション能力
意欲・関心・志向性	専門分野を超えて問題を探求する姿勢	
	国際感覚を身に付け、世界に踏み出そうとする意欲	
	自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野（自己管理能力・チームワーク）	
		生涯にわたって探求しようとする姿勢（生涯学習力）
		多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲（社会的責任・チームワーク・リーダーシップ）

教職課程履修者は ～内の科目は必修	教職課程	教職入門 教育学概説 教育心理学 教育相談・進路指導 → 教育行政 道徳教育の指導法 音楽科教育法A 特別活動の指導法 生徒指導の方法及び教育課程の意義と編成 音楽科教育法B 音楽における情報機器の活用 特別支援を必要とする生徒の理解 → 教育方法(情報通信技術を活用した 教育の理論及び方法を含む) 音楽科教材研究A 総合的な学習の時間の指導法 音楽科教材研究B → 教育実習指導 教育実習 教職実践演習(中・高)
	課外講座	キャリアガイダンス特別講座 教員採用試験受験特別講座

2年次		3年次	
前期	後期	前期	後期

教職課程	教職入門 教育学概説	教育心理学 教育相談・進路指導	教育行政 道徳教育の指導法 音楽科教育法A 特別活動の指導法	生徒指導の方法及び教育課程の意義と編成 音楽科教育法B 音楽における情報機器の活用 特別支援を必要とする生徒の理解	教育方法(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を学ぶ) 音楽科教材研究A	総合的な学習の時間の指導法 音楽科教材研究B	教育実習指導 教育実習	教職実践演習(中・高)
	課外講座	キャリアガイダンス特別講座 教員採用試験受験特別講座						

教養と技能およびキャリアを育む全学共通カリキュラム「東邦スタンダード」を設置する。

広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で幅広い学修が可能な科目群を設置する。

専門的な方法論
と知識を学ぶた
めに、順次性が
あるカリキュラム
を編成する。

高い芸術性を修得するため、専攻実技は個人レッスンを実施する。

専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。

知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブ・ラーニングを取り入れた参加型の少人数授業を実施する。

国際的に通用する幅広い知識を持ち、芸術文化の発展に貢献できる人材育成。

身に着けた知識
やスキルを統合
し、問題解決力と
新たな価値の創
造につなげていく
能力や姿勢を育
成する。

多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力

技能 専攻分野を中心とした知識と技能

立った広範な文化の理解

思考 現代社会に必要な
とされるコミュニケーション能力

体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決をする能力

自己発信のプレゼンテーション能力

て問題を探求する姿勢

み出そつとする意欲

欲・関心

同性 生涯にわたって
探求しようとする
姿勢(生涯学習
力)

め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲(社会的責任・チームワーク・リーダーシップ)

建学の精神・教育の理念〔音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目途とする〕